



高校の先生を招いての進路学習会 其の2

11号に続き進路学習会を通して分かった高校についての紹介です。今回は沖縄工業高校について生徒のメモから紹介します。

◎ 6学科

学科によって学ぶことが全然ちがひ、食物について学ぶ学科もある。

- ・電子機器科 ・情報電子科 ・工業化学科 ・土木科 ・建築科
- ・生活情報科(2年から食物コースと保育コースに分かれる)

年度によって変わるが現在は、女子生徒の人数は全学科で50名程度で、電子機械科以外にはいる。

◎ 部活

50種類もあり、高校から始めても九州に行く部活が多数ある。レベルが高い。

◎ 定期テスト

- ・1年生は1学期の中間テストがないので、年5回。他学年は6回。
- ・基本9教科を1日3教科、3日間で実施する。しかし、学科によっては12教科のところもある。

◎ 求める生徒

物をつくる高校なので、「行動にうつせる生徒」が成績も伸びる。

浦添工業

夏休みに先生向けの説明会に参加しました。得た情報を紹介します。

進学

◎進学する生徒もいますが、全体的には就職に力を入れてます。

◎大学進学を一般選抜で挑むのは次の道です。専門科目が多く、入試に必要な5教科の授業が少ない(特に理科)からです。ただし、AO入試や指定校推薦なら合格の可能性は高い。その為には資格取得やコンテストなどを頑張る必要があります。

向かない生徒

◎インテリア科や建築科でも刃物、大きな音、激しい火花が出る授業があります。これらに強い恐怖を抱き、パニックを起こす生徒は、個人の特性だとしても、その授業の単位を取得できないので向いていません。また、建築科は高所が苦手な生徒も厳しいです。

先生方の思い

◎普通科の家庭科の教師から調理科の家庭科に移動して10年になります。普通科の時には1年の付き合いなので、その子の良さは見つけても、その良さを伸ばすは難しかった。専門高校は3年間、少人数の付き合いなので、良さを伸ばせるところに魅力を感じています。

調理科

◎他学科よりも衛生面から身なりは厳しいです。

◎学科特有の徴収金が3年間で18万程かかります。しかし、専門学校は2年間で190万程かかると考えると安いです。

インテリア科

◎現在インテリアコーディネーターだけの就職は厳しく、建築の仕事に就いてコーディネートことが多いです。

※デザイン科やインテリア科がどのような作品を作っているのかは、卒業作品展をみるといいです。

※浦添工業高校には他に「情報技術科」「建築科」「デザイン科」があり合計5学科あります。